

## 「空っぽの器」友の会

多摩川せせらぎメディカルカフェ・スタッフ 岡内 泰子

次の駅はもう神奈川県という東京都のはずれに、「多摩川せせらぎメディカルカフェ」ができました。がん哲学外来の皆さまに沢山支えられての出発です。カフェという器の中に、どのような景色が見えてくるのでしょうか。何かが形成されるのでしょうか。それは…これからですが、何にもなくても、のんびりとお茶を飲んでいる場所というもありだと思っています。お互い「病気であっても病人ではない」その人らしさで、時を過ごせる「場」のひとつになれるといいと考えています。

がんという病いを通して「がん哲学外来」に出会い、「カフェ」に参加して空っぽの器の大切さと重さを実感しました。これは以前にも感じたことがあった気がしました。東日本大震災の後、関わっていたボランティアグループの仲間たちと岩手県沿岸部のある場所で、被災した方々とお話をするのを始めて1年過ぎた頃から、行きたいときに行けて、そこに行けば誰かと話ができる「場」がとても重要になっていることを知りました。地元のお寺やお母さんたちが「場」作りに色々と努力されていました。

カフェに参加したときに頂いた「解決はできないが、解消はできる」。樋野先生の言葉の処方箋で、わが身と重なって被災者方との話が思い出され、ひとは辛い状態のとき、気兼ねなく話ができる相手の存在が大切なのだと改めて感じております。歳もとりに病を得た私ですが、今少し時間が頂けたようなので可能ならばカフェを作りたいという気持ちになりました。必要な時、必要な方々に使って頂ける「場」となるよう願っています。

今回は3月20日(水)13時30分～16時を予定しています。

### 第8回 がん哲学外来 多摩川せせらぎメディカルカフェ

「がん哲学外来メディカル・カフェ」は、リラクシング空間の中で、病気の不安や悩みなどをともに語りたい皆さん、日本人の心にとりかかっている時代、言葉だけでなく音楽、連絡、音楽、医療、看護、患者が語り合う場としてあつちと作られています。その心のかたまりを育てる場です。  
樋野興夫先生(筑波大学大学院教授、東京女子大、滋賀大学副学長の職により就任)、橋本先生(筑波大学大学院教授、東京女子大、滋賀大学副学長の職により就任)、橋本先生(滋賀大学副学長)が関わっています。初めての方もお気軽にご参加ください。

日時：2019年3月20日(水)  
13時30分～16時  
会場：田原市 せせらぎ公園 集会施設  
場所：東京都大田区田原2-53-10  
最寄り駅：東武東上線 多摩川駅 徒歩  
多摩川線 徒歩1分(徒歩5分) 徒歩  
参加費：¥300(当日受付にて現金で頂戴)  
参加申し込み：2月12日(水)までに事務局へお申し込みをお願いいたします。  
お申し込みは、メールでお願いします(住所はご不明な方は、お名前と郵便番号のみで結構です)。  
お申し込み先：事務局 〒110-8365 東京都台東区浅草橋1-10-101 がん哲学外来事務局(浅草橋駅から徒歩15分) (TEL:03-5643-3553) (FAX:03-5643-3554) (E-mail: info@gan-risaku.or.jp) (Web: www.gan-risaku.or.jp)

氏名	〒	〒
姓(姓)	〒	〒
名(名)	〒	〒
住所	〒	〒
電話	〒	〒
TEL	〒	〒
FAX	〒	〒
E-mail	〒	〒
その他	〒	〒

新刊「種を蒔く人になりなさい」出版記念 樋野興夫氏講演会

2月11日に発行された「種を蒔く人になりなさい」の出版を記念し、東京で順天堂大学大学院教授、がん哲学外来事務局の樋野興夫氏から、心のかたまりを育てる人、心のかたまりを育てる人から人生を生きるための方法を語ります。

講師 樋野興夫氏  
司会 佐野泰道氏

開演 18:30(開演 18:00)  
お茶の水クリスタルセンター8階チャペル  
東京都千代田区神楽坂2-1-1

お問合せ・申し込み先  
いのちのこぼし社出版部  
TEL:03-5341-6920  
FAX:03-5341-6921  
E-mail: info@inochi-no-boshi.or.jp  
web: www.inochi-no-boshi.or.jp

## カフェ「みどりーむ」開設に導かれ

メディカルカフェ「みどりーむ」代表 河野 勇一

周りに10人を越えるがん経験者がいる私と妻は、2018年9月に上京した際、以前私どもの教会におられた田鎖夕衣子さん母娘が主宰する「メディカルカフェひばりヶ丘」を体験し、その直後に白鷺教会で持たれた樋野興夫先生の講演会に、教会の仲間ががん経験者、高崎順子さんと参加する機会を得ました。

それをきっかけに、メディカルカフェを私どもの緑教会で開きたいとの願いが高まり、学びと準備を始めたのです。折よく、「メディカルカフェどあつこ」の朝日賞受賞祝賀会が名古屋で開かれて、そのときに彦田かな子さんとの出会いが与えられました。以来、先発の「カフェ・シャチホコ記念」に学び、緑区近隣の参加者とも出会うなかで、11月15日にメディカルカフェ「みどりーむ」をスタートした次第です。

奇数月の第三木曜午後には持たれる少人数のカフェですが、がん経験者が互いに自分のことを話すことのできる場として、地道に継続していきたいと願っています。

編集後記:今回は 昨年11月にできたホヤホヤのカフェ、そして先月1月にカフェを開催したお二方より投稿していただきました。こうして日本にたくさんのメディカルカフェができることをとても素敵なことだと思います。そして「メディカルカフェ」の存在を、また「言葉の処方箋」の素晴らしさを伝える映画がいよいよ公開されます。

「がんと生きる 言葉の処方箋」監督:野澤和之  
劇場公開:2019年5月3日(金)～9日(木) 新宿武蔵野館にて、上映は午前中1回のみ。  
詳しくは、「がんと生きる 言葉の処方箋」映画公式ホームページまでお問い合わせください。

[https://kotobanosyohousen.wixsite.com/website/screening\\_press](https://kotobanosyohousen.wixsite.com/website/screening_press)

編集:青柳志保 制作:山田真子

Eメール: [shihoabamakoto@gmail.com](mailto:shihoabamakoto@gmail.com)

一般社団法人がん哲学外来ホームページ <http://www.gantetsugaku.org/>